

作成日 令和4年8月10日
イージーパワー株式会社
代表取締役 竹村 英明

太陽光発電所 維持管理計画

1. 維持管理の基本的事項

(1) 施設の名称、設置場所

イージーパワー大泉発電所 1号機、2号機、3号機

(2) 保守点検責任者

山梨自然エネルギー発電株式会社 代表取締役 大友 哲

(3) 事業区域の面積、発電出力（合計出力）

事業区域の面積 3,038.0 m²

1号機 49.5kW 2号機 39.6kW 3号機 49.5kW 合計出力 138.6kW

（太陽電池モジュール合計 178.5kW）

(4) 運転開始年月日

1号機および2号機 2016年4月5日

3号機 2016年12月26日

(5) 維持管理の内容

○施設全般

- ・定期的な点検により、不具合を確認した場合は、直ちに修繕等を行い、施設が正常に運転されている状態を維持する。
- ・遠隔監視システム「みえる一ふ」により発電量を監視するとともに、保守点検責任者と業務委託契約を結び、異常が発生した場合には、直ちに対応できる体制を整備する。

○太陽光発電設備

- ・運転に支障が生じるような変形がないこと、強風等による施設の損壊、飛散を未然に防止するため、破損や固定部に緩みがないことを確認し、施設を適正に管理する。

○付帯設備

- ・防護柵、進入路に異常がないか点検し、必要に応じ修繕等を実施する。

○事業区域

- ・雑草が繁茂しないよう草刈りを行い、ゴミの散乱がないよう事業区域内を清潔に保つ。
- ・土地の形質が変化（地割れ・陥没・崩れ・洗掘・水みちなど）していないか、事業区域内及び周辺の巡回を実施し、必要に応じ修繕等を実施する。

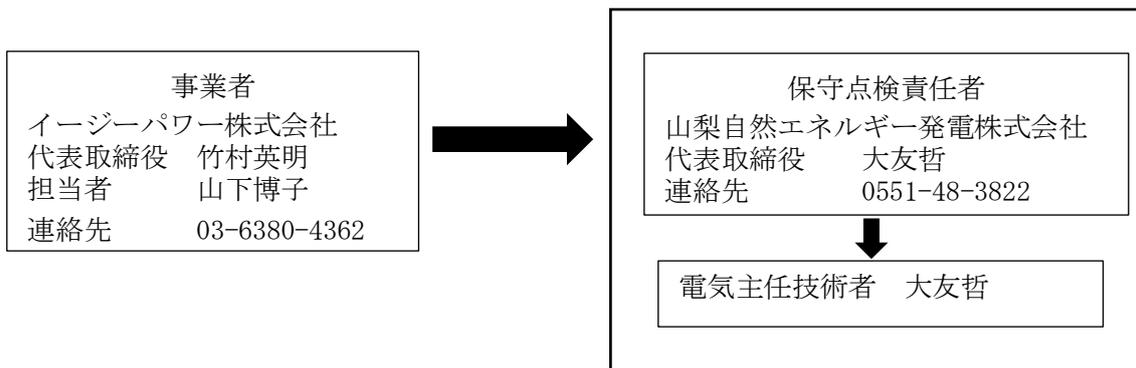
(6) 損害保険の加入状況

火災保険、賠償責任保険に加入（1年更新）

(7) 事業を廃止する際の対応

- ・ 廃止に要する費用の確保に関する方法
太陽光発電の廃棄費用積立ガイドラインに従い、11年目から外部積立を行う。
- ・ 太陽光発電設備の処分方法
事業終了時の情勢により適切に廃棄、リサイクル処分を行う。
- ・ FIT売電終了後の事業区域の利用計画
FIT期間終了前に、以下の2つの対応を地権者と協議し合意した上で実施する。
 - ①FIT期間終了後直ちに撤去する
 - ②期間終了後も太陽光発電システムを健全に運用できる状態であれば、運用継続する。

2. 維持管理の実施体制



3. 維持管理の保守点検項目、方法及びその実施頻度
別紙「維持管理保守点検表」に示す。

4. 太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容及びその実施体制

気象情報を常に意識し、現場の巡視及び以下の点検や対策を講じ、被害を未然に防止することで、施設の安定的な運用に努める。

【確認項目】

○台風（強風）による飛散

- ・ 太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと及び基礎等に強度が不足するような劣化がないことを3. 維持管理の保守点検項目に従い巡視を実施
- ・ 周辺残置物の飛散により設備が破損しないよう処置
 - (ア) ボルトの増し締めによる対応
 - (イ) 劣化が著しい設備の事前撤去等
 - (ウ) 周辺環境の整備

○地震による倒壊等

- ・ 太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと及び基礎等に強度が不足するような劣化がないことを3. 維持管理の保守点検項目に従い巡視を実施
 - (ア) ボルトの増し締めによる対応
 - (イ) 劣化が著しい設備の事前撤去等

○豪雪による倒壊等

- ・ 太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと及び基礎等に強度が不足するような劣化がないことを3. 維持管理の保守点検項目に従い巡視を実施
 - (ア) ボルトの増し締めによる対応
 - (イ) 劣化が著しい設備の事前撤去等

○実施体制

- 2. 維持管理の実施体制と同様

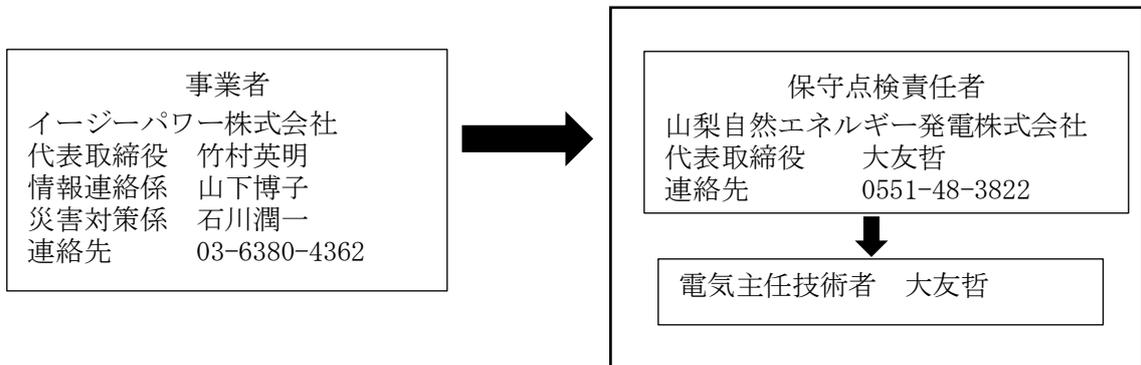
5. 土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が発生し、又は周辺地域の環境の保全上の支障が生じた場合に予定している措置の内容及びその実施体制

○災害発生時対応事項

初動体制	事故・災害が発生した際、迅速に状況を把握し災害対策組織図により、対応を協議し、災害発生時連絡体制表により関係する機関に連絡する。
応急処置・二次災害防止対策	土砂流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる。
復旧措置	応急処置後、復旧までの工程表を作成し、速やかに復旧作業を行う。
再発防止対策等の対応計画	事故原因の究明及び現状の維持管理状況を分析し、再発防止のため維持管理計画の内容を再検討する。

※事業地に災害が発生していない場合でも、異常気象後は速やかに施設を確認し、必要な対策を講じる。

○ 災害対策組織図



○ 災害発生時連絡体制表

